

DKドレーンパイプ
－ 標準積算資料 －

令和4年4月

株式会社 ダイカ

目 次

1. 適用条件	1
2. 施工費標準歩掛	1
2-1. 位置出し工	1
2-2. DKドレーンパイプ打設工	1
2-3. 打設機械据付・撤去工	4
2-4. 仮設アンカー設置工	4

1. 適用条件

本標準積算資料は、ドレーンパイプおよびビットより構成されるDKドレーンパイプを打込みアダプタを用いて打設する場合の工事費の積算に対して適用する。

なお本資料において扱っているのは直接工事費のみであり、間接工事費については別途積算するものとする。

2. 施工費標準歩掛

2-1 位置出し工

斜面において、DKドレーンパイプの設置位置を決定する作業とする。

表 2.1 標準歩掛 (100 本当たり)

名称	単位	数量
土木一般世話役	人	2.00
のり面工	人	4.00
普通作業員	人	2.00
諸雑費	%	5.0

※諸雑費はロープ、杭等の消耗資材の損料であり、
労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

2-2 DKドレーンパイプ打設工

(1)編成人員

日当たり編成人員は、次表のとおりとする。

表 2.2 日当たり編成人員 (人/日)

名称	単位	数量
土木一般世話役	人	1.00
特殊作業員	人	2.00
普通作業員	人	1.00
諸雑費	%	40.0

※諸雑費は打設機械、空気圧縮機、ロッド、スイベル等の費用とし、
労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

(2) 運転時間

打設機械の運転時間は、7.0 時間/日 (= 420 分/日)とする。

(3) 施工能率

DKドレーンパイプ 1 本当たりの打設時間は次式により算出する。

$$T_s = (T_1 + T_2 + T_3 + T_4) \times k_1$$

- T1 : 1 本当たりの打設時間
- T2 : DKドレーンパイプ継ぎ時間
- T3 : ロッド継ぎ・引抜き 時間
- T4 : 移動およびセット時間
- k1 : 斜面勾配による補正係数

① 1 本当たりの打設時間 (T1)

$$T_1 = \Sigma(t_1 \times L_1)$$

- t1 : 地質別打設時間 (min/m)
- L1 : 地質別打設時間 (m/本)

表 2.3 地質別打設時間 (t1) (min/m)

砂質土	粘性土	礫質土
1.8	1.8	別途考慮

② DKドレーンパイプ継ぎ時間 (T2)

$$T_2 = t_2 \times L$$

- t2 : DKドレーンパイプ継ぎ時間 (min/m)
- L : DKドレーンパイプ長 (m/本)

表 2.4 パイプ継ぎ時間 (t2)

DKドレーンパイプ継ぎ
0.4 (min/m)

③ ロッド継ぎ・引抜き時間(T3)

$$T3=(t3+t4) \times L$$

- t3 : ロッド継ぎ時間 (min/m)
 t4 : ロッド引抜き時間 (min/m)
 L : DKドレーンパイプ長 (m/本)

表 2.5 ロッド継ぎ・引抜き時間(t3・t4)

ロッド継ぎ	ロッド引抜き
1.0 (min/m)	0.4 (min/m)

④ 移動およびセット時間(T4)

表 2.6 移動およびセット時間(T4)

移動およびセット
10.0 (min/本)

⑤ 斜面勾配による補正係数(k1)

表 2.7 斜面勾配による補正係数(k1)

斜面勾配 (α)	1:1.0より緩 $\alpha \leq 45^\circ$	1:1.0~0.7 $45^\circ < \alpha \leq 55^\circ$	1:0.7より急 $55^\circ < \alpha$
補正係数	1.0	1.2	別途考慮

2-3 打設機械据付・撤去工

ドレーンパイプ打設作業の開始時と終了時、別工区に打設機械を移設するなどの場合に、必要回数を計上する。

※据付作業と撤去作業で1回計上

※別工区に移設する場合、移設先での据付作業と撤去作業で1回

表 2.8 標準歩掛 (1回当たり)

名称	単位	数量
土木一般世話役	人	2.00
のり面工	人	4.00
特殊作業員	人	2.00
諸雑費	%	10.0

※諸雑費は使用機械、工具等の費用であり、
労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
※上表の諸雑費は参考であり、現場条件に応じて変更する。

2-4 仮設アンカー設置工

斜面に打設機械固定用のウインチ・ワイヤー器具等を設置する箇所が無く、仮設アンカーの設置等に対応する場合に計上する。

表 2.9 標準歩掛 (10本当たり)

名称	単位	数量
土木一般世話役	人	1.00
普通作業員	人	1.50
諸雑費	%	40.0

※諸雑費には一般的なアンカー材等の材料費を含むものとし、
労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
※上表の諸雑費は参考であり、
特殊なアンカーを用いる場合は変更する。